

2/26
朝日

「奨学金破産」は国難ですぞ

無職

(兵庫県 74)

私は高校、大学とも、日本育英会(現・日本学生支援機構)の特別奨学金で進学させていただいた。高校受験に先立って学力試験があり、「私の人生を決めるテストだ」と、本番の入試以上に緊張したことを覚えている。

元々教員志望だったので教員養成課程に学び、当時あった「義務教育職に就いた者は全額または一部の返還免除」という制度の適用で、返済の苦労を経験せずに済んだ。在職中は「国民の税金で教員になることができたのだから国民に恩返しをしなければ、そ

ういう教員であらねば」という意識が常にあった。

今の奨学生も同じ気持ちだろう。しっかり勉強して卒業したら返そう、返します、返さねばと思っていたのに、就職難の壁にぶち当たり、返そうにも返せない……。悲しきサ行五段活用。

最近、「奨学金破産」など信じられない言葉を聞くようになった。給与差し押さえ、自己破産、厳しい取り立て。これでは「学生支援」ではなく「いじめ」だ。応募者は元々、貧困家庭のはず。他から予算を回すべし。

安倍晋三さん、日本の恥ですぞ、まさに国難ですぞ。